

## ジンギスカンで「第7回浜美化交流」

## 石狩浜で親睦深め、海辺の環境保全を再認識



7月21日は国民的な休日で“海の日”。海に関わるゴミ拾いを行っているNPO法人北海道海浜美化を進める会（以下、進める会）では、毎年この日に浜美化交流会を行っています。

今年は石狩市と小樽市の中間にある石狩湾新港の砂浜でゴミ拾いの後に懇親会を持つという「第7回目浜美化交流会」を行ないました。

参加者は65人。親子連れ、学生、中高生などで2人、3人が一組になってゴミを拾いました。砂浜の全長は500メートルくらい。前日には北海道ヨット連盟のイベントがあり、そこでもゴミ拾いを行ったが、それでもゴミは結構散在していました。午前中、一時間ほどのゴミ拾いだったが、釣りに来ていた家族が、一緒になって周りのゴミ拾いを行い、「私たちもできる範囲でゴミ拾いをします。皆さんも頑張ってください」と笑顔で語っていたのが



ゴミ拾いの後は、待望のジンギスカンを囲んでの親睦会。たまねぎやキャベツなどの野菜を入れて、次にジンギスカンをのせていく。

18キロ用意したジンギスカンは参加者の食欲を満たすには十分だった。親子連れ、お母さん方のグループ、学生などいろいろな方々が参加したが、やはりお母さん方のパワーは素晴らしいもので、後片付けなども的確に指示するなど非常にメリハリのある交流会になりました。

今回は、ゴミ拾いと焼肉交流会を合わせて行ったが、やはり食べるだけでなく、ゴミ拾いも行って、それから食事をするというのは良かったようだ。来年は少し開催日を早めて交流会を行う計画だ。

